

Schedule

海藻ピッチ体験スケジュール

はこだて海藻アカデミー2026

海藻 ピッチ体験



ピッチとは

自分たちのアイデアや企画の本質を、短時間で論理的かつ分かりやすく提示し、その価値や魅力を伝え、将来的なビジネス展開につなげるためのプレゼンテーション。

資源を、価値に変える。地域の未来を、つくる。

函館で昆布漁の家に育ったある女子高校生は、幼い頃から漁を手伝い、その厳しさも実感してきました。家業を継ぎたい思いを抱きつつ、「自分にできる形で支えたい」と考え、函館高専で研究に取り組んでいます。昨年度のはこだて海藻アカデミー、高校生ビジネスプランにも参加し、成果を上げました。いま彼女は、未利用資源「ガニアシ」を活用し、新たな価値を生み出すことで漁業の未来を明るくしたいと考えています。同じ志を持つ若い世代は全国にいますが、海藻を学ぶ機会は限られています。だからこそ、学びたい気持ちをつなぎ、仲間と出会う場が必要です。未来の海を支える若い力、その一歩を後押しするのが海藻ピッチ体験です。



2026年5月16日(土)

◎キックオフセミナー

海藻に関わる、科学、技術、文化、芸術、社会課題の解決などに取り組む高校生たちを全国から5チーム選抜、この日、リモートで各チームが、課題と感じていること、改善したいこと、提案したいことなど、この段階でのアイデアを発表し、情報交換する。

2026年5月中旬~7月中旬

◎課題解決[前半]

専門家の伴走を得ながら、各チームはそれぞれ課題解決に取り組む。

2026年7月25日(土)

◎中間発表

課題解決に向けた進捗状況をリモートで発表、情報共有する。第三者や他の専門家の意見やアドバイスも受けて、相互の課題解決を推進する。

2026年7月下旬~11月下旬

◎課題解決[後半]

各チームは発表に向けて内容を整理し、発表資料の作成、発表(プレゼン)の練習なども始める。

2026年12月5日(土)

◎海藻ピッチ発表

各チームは函館にリアル集合、対面形式で「海藻ピッチ発表」を行う。当初のアイデアが課題解決プロセスを経て、どのように進化したか、そのプロセスも含めてプレゼンする。発表会には有識者や専門家も参加し、助言を得るほか、参加者同士の交流も深める。

2026年12月上旬~2027年2月中旬

◎発展支援

海藻活用研究会に参加する企業や大学などの連携により、課題解決のアイデア具体化に向けた必要な試験・試作など、社会実装に向けた歩みを進める。

目的

より深い海藻の知識を求めるユース世代に学びの機会を提供し、支援する「海の人づくり」。ユース世代が地域課題に向き合う姿が世代を超えたメッセージとなり、未来の豊かなまちづくりの原動力になることを目的としています。

目標

専門家が学生による海藻の学びをサポートします。最後の成果発表(ピッチ)で、学びの成果を共有することでモチベーションはさらにアップ!企業や研究機関などにつながる絶好の機会です。さらなる学業や事業化など具体的に発展させましょう。

学びの成果をプレゼンします!



主催・企画 / 一般社団法人 海藻文化振興会

お問合せ

一般社団法人 海藻文化振興会事務局
メール:k-yamamoto@hokkaido-marine.com

TEL 0138-84-8240

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION